



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'95 5月号



《春の自然観察会》

-大山山麓に春の花を訪ねて-

■4月16日の日曜日に「春の自然観察会」が、大山ケーブル駅 - 大山不動 - 下社 - 菴毛越 - 菴毛のコースで行われました。参加したのは小学生3名を含む18名で、少し肌寒い陽気の中、約10kmのコースを元気に踏破しました。道々みんなで観察したものには次のようなものがありました。

- ◇ヒキガエルの卵／大山不動の池に親ガエルも。道にたくさんの卵が流れ出てしまっていたので、一部を救出して池に放す。
- ◆スミレの花／タチツボスミレは全コースに。薮毛越の近くでは、ナガバノスミレサイシンが群生。
- ◇ミミガタテンナンショウ／ちょうど咲く季節であちこちで花を見る。おおいをそっとどけて雄花か雌花かを確かめて歩く。
- ◆アブラチャン／薮毛越で満開。【写 真】
- ◇ミソサザイ／谷間からよくとおる声でさえずるのが聞こえた。全体に鳥の声は少なかった。
- ◆シカの残した・・・／山道を横切るシカ道があちこちに。下社の近くではたくさんのフンも。
- ◇ネコノメソウの仲間／ヤマネコノメソウ、ムカゴネコノメソウ、ハナネコノメソウ、イワボタン(ミヤマネコノメソウ)の4種類を見る。少し盛りを過ぎ、ヤマネコノメソウは実になっていた。



プラネタリウム投影話題 5月6日～7月9日

地球をかすめる小惑星

イカロスの星

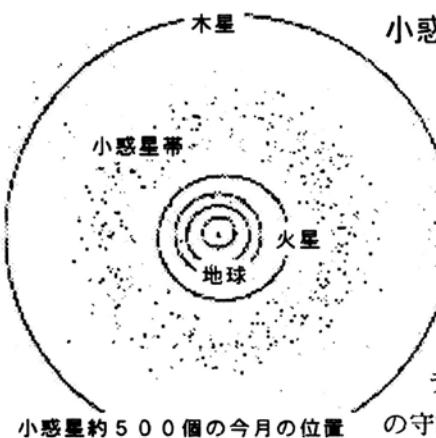
鳥の羽をロウでつなげた翼を付け、大空を飛んだギリシャの青年イカロス。彼は太陽に近づきすぎ、ロウが太陽の熱で溶け、地上に墜落してしまいます。ギリシャ神話に名高いイカロスの悲劇ですが、1949年、その名が太陽に近づく小惑星つけられました。特異小惑星イカロス。水星の軌道の内側にまで入り込み、太陽に2700万キロまで近づきます。19年毎に地球にも近づくイカロスは、68年には地球に640万キロまで近づきました。このような小惑星は他にも見つかっており、近年、地球に近づく小惑星として注目されるようになってきました。



小惑星とその軌道

小惑星とはどのような天体でしょう。今までに見つかりっている小惑星の数は、約6,000個。大きさは、最も大きなセレスで直径780Km。月の1/4ほどです。小さなものは直径数メートルのものまで見つかっています。

小惑星の形は大きな小惑星は、球形をしていますが、直径数キロというような小さな小惑星は不規則な形をしています。ほとんどの小惑星は火星と木星の間に位置し、太陽のまわりを円に近い楕円軌道を描いてまわっています。しかし、なかには変わり者がいて、その軌道が地球の内側まで入ってくるような仲間もあります。これが、アポロ・アモール型小惑星です。今までに250ほどのこの型の小惑星が発見されており、地球に接近し、衝突するのではないか、と騒がれた小惑星もあります。そのなかでも、1992年の12月に地球ニアミスを起こした小惑星トータチスは2000年に衝突する恐れがある、とフランスの学者が警告したほどです。



小惑星トータチス

とのニアミス
トータチスは1989年1月、フランスの天文台で発見されました。トータチスとは南フランスに住む民族の守護神の名前です。

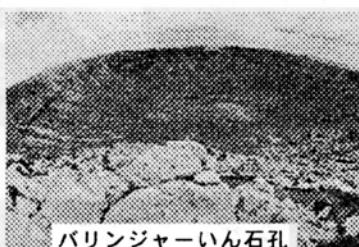
その軌道が地球の軌道に接近することから、衝突騒ぎとなったようです。はたして、地球と衝突するのでしょうか。

日本の天文学者が、スーパーコンピュータを使って、今後130年間に起こるニアミスを調べた結果、トータチスは一番地球に接近する2004年に、155万キロメートル、地球と月の4倍ほどの距離を通過することがわかりました。そのほかにも現在、軌道がわかっている小惑星は地球と衝突はしない、とのことです。

トータチスは直径4キロメートルほどの小惑星ですが、まだ、誰にも発見されていない小さな小惑星が無数あります。これらのうち、地球に衝突する小惑星の確率が計算されています。それによると、直径10km大のものは1億年に1回、1km大のものは100万年に1回、100mのものは1万年に1回のことです。ちょっと気になる数字ですね。

クレーターが物語る衝突エネルギー

アメリカのアリゾナ州にバリンジャーという有名ないん石孔があります。直径1.2km、深さ170mのいん石孔ですが、5万年くらい前に、直径60mほどの鉄いん



石によってつくられたものです。いん石の大きさに比べ、いん石孔が大きいように思えますが、秒速20kmくらいの速度で衝突する

と、運動エネルギーすべてが熱に変わり、20メガトンの核爆弾などのエネルギーが生み出され、爆発を起こします。それで、大きな孔、クレーターがつくられました。

地球をかすめる小惑星

1972年8月、アメリカロッキー山脈のユタ州からカナダ、アルバータ州の上空を白い尾をひきながら、高速に移動する物体が大勢の人々に目撲されました。その一部始終が撮影されたフィルムから、これは地球に秒速15kmほどで斜めに飛び込み、地球の大気にはじき出された小惑星だったことがわかりました。その大きさは直径80mくらいと推定されました。もし、地上に衝突したら、と考えるとぞっとします。

地球に近づく小惑星を多くの学者、天体観測家が監視しています。危険な小惑星を早く見つけ、地上の生命を守るために取り組みが始まりました。

新刊図書案内

★平成5年度の博物館の活動内容が一読瞭然★

平塚市博物館年報第18号(400円)

★30年にわたり全国で採集した植物標本目録★

平塚市博物館資料43

吉川コレクション植物標本目録(1100円)

◎1983年に吉川代之介氏から寄贈された標本で
閲覧可能です。

◎貴重な標本もたくさん含まれています。

★最新の研究報告★

自然と文化 第18号(1100円)

<研究報告>

- ・平塚市遺跡分布調査報告2
- ・平塚市五領ヶ台貝塚出土の礫石錘について
- ・米国公文書館調査
- ・相模川沖積低地から出土した軟体動物化石
- ・1994年の太陽黒点

<資料紹介>

- ・福井準造「非増租継続論」
- ・明治後期の税制論

★もっと鳥と仲良くなりたい人に贈る★

ガイドブック14 野鳥の観察-鳥は何をしているか?- (900円)

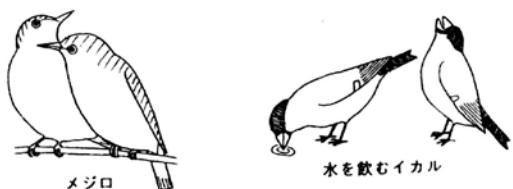
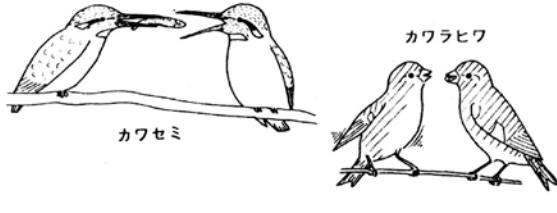
■バードウォッチングが盛んですが、鳥の種類を見分けるだけでなく、一步進んで鳥がいったい何をしているかに注目してみると野鳥観察がいっそう楽しくなります。鳥の行動のひとつひとつにはどんな意味が隠されているのでしょうか。

■鳥の生態を知るにはひたすらじっくりと観察を続けることに尽きます。そこで、野鳥観察のポイントをガイドブックにまとめてみました。

■この本には、観察データを書き込む欄を設けてありますので、記録したデータにもとづき自分なりに鳥の行動の意味を考えて欲しいと思います。最初から回答が用意されているより、なぜ?といった疑問を追求してみる方がずっとおもしろいものです。

■相手を知り、心を通わせることから友情が始まるように、習性を知れば知るほど鳥が好きになるでしょう。わたしたちの野鳥への思い入れは残念ながら片思いで終わりますが、それもやむなしです。鳥とのつきあいによってたくさんの恵みがえられるでしょう。そして、彼らの生活舞台である自然を大切にする仲間が増えることを願っています。

■愛くるしい鳥たちと友達になるために、まずはこのガイドブックを手にとってみてください。街で、川で、森で見かける鳥たちがいっそう身近な存在になると思います。まもなく鳥は繁殖期を迎えます。賑やかなコーラスを浴びに森へ出かけませんか。



◆えっ! こんな鳥もいるの? ◆

- ・餌を水洗いしてから食べる水鳥
- ・ドングリを落葉に隠すカケス
- ・桜の花を食べるスズメ
- ・海水を飲むアオバト
- ・恋人同士の羽づくり
- ・雨を浴びるカラス
- ・蟻を浴びるカケス
- ・レパートリー豊富なコルリのさえずり
- ・物まね上手のモズ

◎平塚市博物館の刊行図書は、博物館一階の受付で販売しています。郵送ご希望の方は書籍代金と送料を現金書留または郵便為替でお送りください。書籍代金・送料については博物館までお問い合わせください。

■博物館カレンダー■

5月の行事予定

6	土	地質調査会（館内活動）
10	水	地質調査会（館内活動）
12	金	◎星を見る会 「月と水星を見よう」
13	土	◎漂着物を拾う会（平塚海岸） 古文書講読会 天体観察会[水星：機材を使ってみよう]
14	日	地質調査会（野外：片岡～千須谷）
17	水	裏打ちの会
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
21	日	古代遺跡を探す会
27	土	古文書講読会
28	日	相模川の生い立ちを探る会 「海岸の地層」（三浦市諸磯海岸）
31	水	月末休館日

6月の行事予定

3	土	地質調査会（館内活動）
6	火	全館くん蒸のためイ木食官<至：15日>
11	日	地質調査会 (野外：浅久保～広川谷戸)
15	木	全館くん蒸のためイ木食官<本日まで>
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会「星座を覚えよう」
18	日	古代遺跡を探す会
21	水	地質調査会（館内活動） 裏打ちの会
24	土	◎漂着物を拾う会（平塚海岸） 古文書講読会
25	日	相模川の生い立ちを探る会 「わさび田と断層線・愛川町」
30	金	月末休館日

◎は参加自由 ○は申し込み制 他は会員制

アーチカルム一般投影：5/6～7/9
「地球をかすめる小惑星」
寄贈品コーナー：5/2～5/30 人文・自然部門
6/1～7/10 生物部門 「新資料紹介」「セミ」

■星を見る会■

◇望遠鏡による天体の観察を通して、天体や宇宙に対する理解を深めます。

開催日：5月12日（金）

時間：19:00～20:30

場所：博物館屋上<科学教室集合>

参加：自由

備考：曇・雨天時中止

■漂着物を拾う会■

◇海岸に打ち上げられた動物・植物・人工物を集め調べます。

開催日：5月13日（土）

6月24日（土）<第4土曜日：学校休業日>

時間：9:30～15:00

場所：平塚海岸・博物館科学教室

集合：花水川河口平塚側たもと記念碑前

参加：自由

備考：雨天時中止

◆行事の延期について◆

■第4回自然観察ゼミナール「野鳥の行動入門」を6月3日から開催する予定でしたが、事情により延期します。日程は決定次第お知らせします。

◆博物館学習ノート◆

<小学校3年生・小学校6年生用>

■平塚市博物館クイズ・アドベンチャーに続く第2弾。展示を見学しながら、学習を深めよう。

内 容

3年生用は、相模の家のコーナーで展示している昔の道具や民家について、6年生用は、平塚の遺跡や考古に関する出土品等について学習できるように編集してあります。<学校専用>

「あなたと博物館」

定期講読のお知らせ

平塚市博物館の情報紙「あなたと博物館」をご希望の方には直接郵送しています。お申し込みは、住所・氏名・電話番号・ご希望の号（〇年〇月号～〇年〇月号）をお書きの上、80円切手を必要枚数同封して博物館までお送り下さい。「あなたと博物館」は臨時増刊号を含め、年13回の発行を予定しています。

あなたと博物館 20巻2号 通巻219号 03000 発行 平塚市博物館
〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています